



創立 昭和32年4月19日
 会長 高橋 靖
 会長エレクト 長谷川 博章
 副会長 米田 常彦
 幹事 森川 善隆
 公共イメージ 豊田 博樹
 松井 大典



事務局 (例会場)

榎原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801 (直通)

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636 (ホテル)

例会日

金曜日

12時30分~13時30分

Vol.63 No.22 (2019-20)

2019(令和元)年2月28日発行

2月は、「平和と紛争予防／紛争解決月間」

(Peace and Conflict Prevention/Resolution Month)です。

第 3052 回例会報告書

2020 (令和2) 年 2 月 7 日

司会 R.song
 ソング・リーダー
 副SAA・中野利昭会員
 君が代・奉仕の理想
 平田博也会員

ゲ ス ト

榎原 RAC 会長 千装大紀さん

出席報告

正会員 44 名

(2/7)

(1/24 補正)

出席者 28 名

〃 30 名

出席率 73.70%

〃 73.20%

ニコニコ箱

◎ニコニコに協力致します。それと、辻田様バレンタインのチョコレートありがとうございます。

.....増田善昭会員

◎しばらく例会を欠席致しましたので。

.....辻田真海会員

◎真海さん、毎年バレンタインのチョコレートありがとうございます。

.....菅生康清会員

◎2月22日~24日に卒業・修了制作展を行います。

皆様是非ご覧下さい。.....平田博也会員

◎バッジを忘れたので。.....河村善一会員

◎誕生日お祝い

民谷浩一会員 (2/1) 中井康允会員 (2/9)

関 俊昭会員 (2/14) 尾上隆志会員 (2/26)

◎結婚記念日お祝い

米田常彦会員 (2/3)

◎入会お祝い

中井康允会員 (39年) 鍵岡正隆会員 (24年)

井上輝好会員 (19年)

会長挨拶

○皆様こんにちは。やっと冬らしくなってきたと同時に、コロナウイルスが流行っている。体調には十分にお気を付け頂きたい。

○先程の理事会で1名の会員候補者が挙がってきた。理事会で承認されたので、皆様に資料をお送りさせて頂く。その上でご判断頂ければと思う。

今日は会員増強委員会から情報集会のご案内をさせて頂く。今回のテーマは「会員増強について」ということだ。是非皆様のネットワークから貴重な情報を頂き、今年度後半戦の、次年度に向けた会員増強の力になるような情報を頂ければありがたいと思う。情報を頂ければ、すぐさま会員増強委員会とともに検討させて頂くので、皆様のご助力をよろしく願いたい。

また、理事会で国際奉仕事業について協議させて頂いた。現状について皆様にご報告させて頂くので、資料をご覧頂きながら耳を傾けて頂きたいと思う。

本日もよろしく願いたい。

幹事報告

△2月誕生日

民谷浩一会員 (2/1) 中井康允会員 (2/9)

関 俊昭会員 (2/14) 尾上隆志会員 (2/26)

△2月結婚記念日

米田常彦会員 (2/3)

△2月入会

中井康允会員 (39年) 鍵岡正隆会員 (24年)

井上輝好会員 (19年) 堀部光志会員 (12年)

△次週2月14日(金)は休会となるので、お間違えの無いようよろしくお願いしたい。

△やまとまほろばRC合同夜間例会について

日時: 3月19日(木) 18時~

場所: THE KASHIHARA 2階「耳成」の間

今年度はやまとまほろばRCがホストとなっている。多数ご出席頂きますようよろしくお願いしたい。

※詳細はメールBOXにて。



- △「ロータリー希望の風奨学金」への寄付について、地区よりお礼状 ※詳細は掲示板にて。
- △飛鳥・橿原ユネスコ協会より「世界遺産連続講座」の案内 ※詳細は掲示板にて。
- △辻田 SAA より、皆様のお手元にバレンタインのプレゼントが届いているのでお持ち帰り頂きたい。
- △例会変更ほか(詳細は掲示板にて。)

- ・大和郡山 RC
 - ①2月24日(月・振休) 休会
 - ②3月30日(月) 場所変更→於:信貴山のどか村
※いずれもビジター受付なし。
- ・奈良西 RC
 - ①3月12日(木) 内容変更→第3回クラブデー開催
※ビジター受付は通常通り。
 - ②3月19日(木)・4月9日(木) 休会
※ビジター受付なし。
- ・大和高田 RC
 - ①3月31日(火) 休会 ※ビジター受付なし。
 - ②クラブ住所・例会場変更(2020年4月より変更)
移転先:〒635-0095
大和高田市大中 106-2 経済会館4階
(例会場は3階大ホール)
※TEL、FAX、メールは変更なし。

委員会報告

- SAA:辻田真海会員
 - ・3月第2例会 時間・場所変更について
例会日:3月13日(金) 3月第2例会
食事:11時30分~12時40分
1階カフェ&レストラン「甘樫」
例会:12時45分~13時30分 2階「藤原」の間
ホテルのランチバイキングフェアに参加する。
11時30分~12時40分の間に食事を済ませて頂き、
例会場には12時45分までにお越し頂くようよろしく
お願いしたい。 ※詳細はメールBOXにて。
- 親睦活動委員会:関 俊昭委員長
 - ・第74回南輪会ゴルフ大会について
日時:5月8日(金) 8時28分OUT/IN スタート
場所:奈良国際ゴルフ倶楽部
今年度は当クラブがホストとなっているので、
ゴルフをされる方はできるだけご参加頂き、ゴルフを
されない方も受付や懇親会へのご協力をよろしくお
願いしたい。
 - ・一泊例会について
日程:3月6日(金)~7日(土) 鹿児島方面
参加費を次々週以降の例会時に集金させて頂くので、
ご用意をお願いしたい。
- 橿原 RAC:千装大紀会長
 - ・2月例会のご案内
2月19日(水)の第1例会は国際奉仕委員会担当
で、委員長が子供や家庭に対する支援に携わっていた
中から勉強したことをクラブ内で共有し、また意見
交換を行う。第2例会は財務委員会担当で、2月
26日(水)に行う。時間はいずれも20時から、場

所はいずれも橿原オークホテルで行う。皆様のご登録をお待ちしている。

卓 話
担当:会員増強委員会

「会員増強について ほか」

- ・第2回情報集会について
(会員増強委員会 河村善一委員)
今回は「会員増強について」というテーマのもと、
情報集会の開催をお願いしたい。テーマの中に、いく
つか話し合ってもらいたいことを入れさせて頂いた。例
えば、会員歴の長い方には入会時の会員数やその時の
雰囲気や若い会員に伝えて頂ければと思う。また、だ
んだんと会員数が減少している中で、会員減少による
デメリットを皆で共有し、危機感を持って会員増強に
臨みたいということが狙いだ。また、10年後の予想会
員数について、10年前から現在そして10年後にどれ
ぐらいの人数になっているのかを皆様と一緒に考えて
頂ければと思う。最後に、具体的に会員を増やすため
にアタックリストを作成して頂ければと思う。その上
でスケジュールを練り、実際に動いていこうというも
のだ。皆様で気持ちを一つに、ワンチームになってや
っていきたいと思う。発表日は3月13日(金)、組分
けとリーダーの方は前回と同じにさせて頂いた。リー
ダーの方にはお手数をおかけするが、日時等の決定や
とりまとめ等よろしくお願ひしたい。
- ・青少年奉仕委員会移動例会に向けて
(青少年奉仕委員会 河村善一委員長)
次々週の移動例会に向けてのプレ知識をお話させて
頂く。最近では大人の発達障害についても言われてい
るが、発達障害は基本は子供だ。発達障害がどういつた
ことなのか、意外とご存知ない方もいらっしゃるの
で簡単に説明させて頂く。
発達障害は脳機能の発達が関係する障害で、基本的
には生まれもって脳の器質的に障害があることを言い、
後天的に発達障害になるというものではない。発達障
害は大きく3つに分かれる。一つ目は自閉症やアスペ
ルガー症候群などの広汎性発達障害で、コミュニケー
ション能力や社会性に関連する脳の領域に発症する
発達障害の総称。アスペルガー症候群は知的に問題が
ない、比較的知能が高いが、コミュニケーションがう
まくできない。二つ目はADHDと呼ばれる注意欠陥
多動性障害、これには不注意、多動、突発的な行動な
どがある。三つ目は学習障害(LD)で、学習障害は少
し分かりにくく、知的障害とは違う。知的障害は読む、
書く、計算する、聞く、話す等が基本的に全体的に低
いものが知的障害で、学習障害は読むだけ、書くだけ
が少ししんどいなど、どれか一つか二つがやりにくい
もので、小中学校などで勉強はできるが音読がどうし
ても苦手だというもの、一つの軽いLDである。俳優
のトム・クルーズはディスレクシア(識字障害)があ
ると言われている。学習障害は特に二次障害が一番問
題で、例えば他の勉強ができるのに漢字の書き取りだ

けができない、音読だけができないとなると、さぼっているように見られてしまい、自分の中で自信をなくしてしまう。自信がなくなってくると、だんだん勉強することが嫌になってしまったり、授業中に反発したり、先生に反抗したりということが出てくる。本来は読む、書くだけの苦手意識が全体の苦手意識に繋がってしまうということが起こり、これを二次障害と言ひ、だんだんと性格が歪んでいったり、友達関係がうまくいかなくなるということが起こる。他にもトゥレット症候群や吃音も発達障害に含まれる。

発達障害はほとんどの方にその傾向はある。ここ十数年で発達障害が増えたと言われているが、今の世の中に馴染めなくなってきたのが実際ではないかと思っている。現代社会においてはほとんどの人がサラリーマンとなって、知らない人と接し、知らない場所に行かなければならないことが出てくる。そのような中で不適応を起こしていくということが発達障害の急増に繋がっているのではないかと思う。

さらに発達障害を強固なものにするのが愛着障害で、これは小さいころから親の愛着を上手に受け取れなかった子供、寂しさを抱えて大きくなった子供は、発達障害のきらいを持ちながら、発達障害を強化する力をもっている。

発達障害もいろいろな形で人と交わり、場合によっては小さい頃からケンカをし、人から可愛がられ、大勢の人と関わることによって、コミュニケーション能力も進歩、進展、成長していく。よって、発達障害のきらいがあっても社会の中で溶け込んでいき、自分の立ち位置をキープし、何らかの形で社会に貢献できる形で自立していれば、それは発達障害者ではないということになる。よく言われるのが、大学の教授など研究に没頭する方は自閉症など発達障害のきらいが強いと言われ、起業家など行動力のある方は ADHD のきらいがあると言われている。

第4の発達障害とも言われているのが虐待である。虐待を受けることによって、最終的に脳に器質的な障害を与える。脳が変化していき、発達障害を最初から持っていたかのような行動をとることがある。発達障害と診断を受けても、実は虐待を受けてそう診断されているというケースもある。発達障害は血液検査やレントゲンで分かるものではなく、いくつかのチェックリストの中で、この項目に何か月間当てはまるという項目を医者が拾い出し、それに当てはまれば発達障害という診断をする。

次々週の移動例会で飛鳥学院にお越し頂くが、中には親から虐待を受けたり、親からほったらかしにされて過ごしてきた経験を持った子供達もいるが、非常に明るく元気になっているので、かわいそうというよりも頑張っているなあという目でご覧頂ければと思う。

・国際奉仕事業について

(高橋 靖会長)

皆様のお手元に資料を配布させて頂いている。これは今年度検討していた国際奉仕事業についての、タクロバン RC と当クラブの吉田会員とのやりとりを記載したものだ。吉田会員は当クラブの国際奉仕委員会の意向を踏まえた上で先方とやりとりをして頂いている。私達がフィリピンに渡航した後すぐにやりとりを始め

て頂いた。そのやりとりの中で、12月にも吉田会員からタクロバン RC へ再三再四プロジェクトを進めてほしい、送金のために銀行口座を教えてほしいと伝えて頂いた。12月の時点で先方から工期についての連絡は全くなかった。12月10日にタクロバン RC の幹事の方から口座を教えて頂き、当クラブの豊田幹事と会計の吉川会員で協力し、13日に先方に入金した。その後、18日に先方から資金の受領を確認したとの連絡があった。その後、吉田会員からプロジェクトの終了日を早急に教えてほしいと伝えしたが、一向に連絡はなかった。1月になって、フィリピンの火山が噴火したとのニュースがあり、お見舞いとプロジェクトの進行状況を伺ったが全く連絡はなく、1月の終わりごろに至っては、タクロバン RC の会長宛てにメッセージを送って頂いた。その後、会長から更新しますとの返信があり、2月に入って幹事からも返信があった。内容は、12月第3週にフィリピン本島に台風が直撃し、多くの被災があった。政府及び政府の外郭団体(NHA)が通常NHAが行っている業務を全て中止し、被災支援に回ったとのことだ。NHAは政府の住宅プロジェクトを監督する政府の団体であり、その団体が今回の水供給システムの建築許可を出さなかった、出せなかったということのようで、このプロジェクト自身をストップせざるを得なくなった。先方からの提案の一つはこちらへの返金、二つ目はNHAと交渉し、この事業を開始できるかどうかの打ち合わせをしたいと思っているということ、三つ目は現状の場所では難しそうなので場所を変えて工事を行うという三つの案を提示された。これらのことを背景に、いろいろな状況を考えていたが、現状の私見を本日の理事会で挙げさせて頂き、皆様にご協議頂いた。結果的に理事会の意向としては、台風で被災し、復興にあたらなければならないため、工期がいつになるか分からない状態なので、一旦けじめをつけようということで、一旦返金して頂くという方向性になった。ただ事業自体は悪い事業ではないので、タクロバン RC と関係を続けながら、復興が落ち着き、工事が開始できるような状況になったら改めてもう一度この事業を復活させようという話をすべきなのではないかという理事会の判断を頂いた。後に地区の国際奉仕委員長と話し、事情は分かかったので委員会で話し、打ち合わせをするという話を頂くとともに、現状として後期に終わらないのであれば地区補助金は返金せざるを得ないので、その点は樞原 RC として了解してほしい旨、また場所を変えての申請は処理上難しいだろうとのご意見も頂いた。それらの総合的なことを懸案すると、一旦はけじめをつけるため返金して頂き、そしてこの事業をするかどうかは次年度、次々年度以降のご判断にお任せさせて頂きたいと思う。現状として、今年度進めてきた国際奉仕事業が事実上開催不可能となった経緯と現状の私見と理事会のご判断を皆様にご報告させて頂き、私の力不足だったことを皆様にお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。今後の処理は速やかに進めていくので、皆様のご理解を頂くようよろしくお願いしたい。